マーケットレポート

米国 FOMC が 8 会合連続の政策金利据え置きを決定

◆会合の概要

米連邦公開市場委員会(FOMC)は7月30日～7月31日(米国現地日付)に開催した定例会合で、フェデラルファンド(FF)金利誘導目標を市場予想通り、8会合連続で現行の5.25%～5.50%に据え置くことを決定しました。

声明文には、「雇用の増加は緩やかになり、失業率は上昇したものの低水準を維持している。」「インフレ率はこの1年で緩和したが、依然としてやや高止まりしている。この数か月間は2%の物価目標に向けたいくつかのさらなる進展があった。」「FOMCは(物価の安定と雇用の最大化という)2つの責務の双方に対するリスクに細心の注意を払っている。」と記載されました。

米連邦準備理事会(FRB)のパウエル議長は会合後の記者会見で、「我々は(利下げの)時が近づいていると考える。期待するデータが手に入れば、9月会合で利下げを検討できるかもしれない。」と述べ、市場の利下げ織り込みを追認する形となりました。

◆市場の反応とマーケット情報

パウエルFRB議長が9月の利下げ開始を示唆したことや、米国が対中半導体規制において日本・韓国・オランダを除外する予定と伝わったことでハイテク株中心に買いが集まり、米株主要3指数は上昇しました。債券市場では、利下げ期待に加え、ADP雇用統計が下振れしたことや、中東情勢の悪化懸念から買いが優勢となり、10年国債利回りは約5か月ぶりの低水準となりました。為替市場では、日銀が金融政策決定会合において追加利上げを決めたことによる円買いや、米金利低下を背景にドル売りが進み、ドル/円は一時149円半ばと3月中旬以来の円高ドル安水準をつけました。

		7月30日	7月31日	前日比	騰落率
株価指数	NYダウ(ドル)	40,743.33	40,842.79	+99.46	+0.24%
金利	米国10年国債利回り(%)	4.139	4.030	▲0.110	-
	米国2年国債利回り(%)	4.359	4.258	▲0.101	-
為替	米ドル/円	152.77	149.98	▲2.79	▲1.83%

(出所)BloombergのデータをもとにJP投信作成。米ドル/円はNY時間の終値。

◆今後の見通し

パウエルFRB議長が9月の利下げ開始を示唆し米金利が低下していることや、7月後半にかけて短期的な調整が入ったことは株式市場を下支えすると見ますが、市場ではすでに年内3回程度の利下げが織り込まれている他、中東情勢の悪化懸念等が重石となり、伸び悩む展開を想定しています。債券市場は、今後の利下げ開始への期待や中東を巡る地政学リスクへの懸念から買いが優勢になると見込んでいます。

以上

【ご留意事項】

- 当資料は、JP投信が投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

JP投信

商号:JP投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2879号
加入協会:一般社団法人投資信託協会

- 当資料は、JP投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。